

◆ 専門医研修3年間の研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I	分野1		分野2		分野3		分野4		分野5		分野6	
II	(分野7、その他)								特別連携施設			
III	連携施設											

- ① 7分野：消化器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経は8週間を目途にローテート研修を行う。サブスペシャリティが決定している場合は、該当科の研修を必須としない。
- ② 3分野：膠原病は腎臓研修中、感染症、アレルギーは呼吸器研修中を中心に症例経験する。
- ③ 総合内科は内科①診外来（I期少なくとも6ヶ月間）及び各科輪番入院患者（誤嚥性肺炎、認知症を伴う内科疾患、低栄養、高齢者終末期医療など）の主担当医で研修する。
- ④ 救急症例の研修はER当番、内科救急当番、当直の機会を利用して研修する。
- ⑤ III期を中心に12ヶ月の地域医療研修を行う。II期に新城市民病院、渥美病院、豊橋医療センターの一施設で3ヶ月間の東三河研修を行う。残りの期間の研修先は本人の希望を優先する。
- ⑥ 初期研修期間の症例は、別に定める規定を満たせば、上限80例まで経験症例とすることができる。

	疾患群	症例数	病歴要約
専門研修1年	42	120	20
専門研修2年	56	160	29
専門研修3年	63	180	査読
最終目標	70	200	受理

疾患群、症例数は1年で最終目標の6割、2年で8割、3年で9割を目標とする。

